

## 加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価

基本理念 地域で支え合い笑顔かがやく元気な加東

政策目標 生きがいをもって安心して住み続けられる地域づくり

平成29年7月3日



★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

1.高齢者が活躍できることへの支援

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	28年実施状況	28年度具体的内容(次年課題と方向性等)		
1 高齢者が活躍できることへの支援	1-1	1 高齢者の健康づくりの推進	○健康づくりの推進 ・一般高齢者の疾病は高血圧、整形外科疾患、脂質異常症の割合が高くなっています。 ・要介護度別認定原因疾患の上位に糖尿病や高血圧、脳梗塞等の生活習慣病が入っています。	・高血圧性疾患等の継続的な治療への支援を通じて、生活習慣病の悪化を予防します。 ・早い段階からの生活習慣病予防対策として、血圧や体重管理などで、自分の健康状態をチェックし、主体的に健康づくりに取り組めるように加東サンサンチャレンジ等の各種事業を実施し、また市広報誌、CATV、ホームページを活用した情報提供により啓発を行います。	実施	(実施内容) ・健診の普及啓発、受診率向上に向け、教室等の機会にチラシを配布し受診勧奨を行った。 ・生活習慣改善に向けた指導の充実と精密検査の確実な受診促進を行いました。 ・市民の主体的な健康づくりに向けた各種事業や広報、CATV、ホームページにより啓発を行いました。	まちぐるみ総合健診の受診人数は、H26年からH28年にかけて増加しており、受診につながる啓発ができています。家庭でも行える体重測定や血圧測定と定期的な健診受診を今後も啓発していきます。一方で、基本健診精密健診受診率は約3割が続いており、健診後の結果の振り返りや確実に精密検査受診を促進することが課題です。	B
		15(8) 生きがいづくりの推進	○高齢者の社会参加の促進と生きがい対策事業の充実(老人クラブ・高齢者大学) ・一般高齢者が、今後重要になると思う施策については「高齢者のいきがいと活躍の場づくり(高齢者の雇用や社会参加の促進)」が最も多いです。 ・地域での健康活動、趣味・生きがい活動、ボランティア活動等を通して、高齢者の社会参加の促進と生きがい対策事業の充実を図っています。 ・老人クラブの会員数が減少傾向にあります。	・高齢者の社会参加に対する潜在的なニーズに十分に伝えていくため、関係団体等と連携・協働して、高齢者の積極的な社会参加のきっかけづくりや、高齢者が活躍しやすい地域づくりを推進します。 ・老人クラブの会員が生きがいや健康づくり、高齢者相互支援などの活動を自主的に企画運営していくことができるように支援します。	実施	(実施内容) ・老人クラブや高齢者大学、地区敬老会、いきいきサロン等の集まりの機会において、まちかど体操についての普及啓発を実施することで、高齢者の社会参加のきっかけづくりや自主的な運営の支援を行いました。	老人クラブ会員数は減少傾向にありますが、まちかど体操教室実施地区は増加しており、高齢者の社会参加のきっかけづくりや自主的な運営の支援を行いました。老人クラブの活動内容について、マンネリ化を防ぎ魅力的な活動へ改善する等の工夫により会員数の増加につながる活動支援をしていきます。	B
	1-2	2 高齢者を支える人材と活躍の	○介護サービス支援者の人材育成(介護予防・生活支援サポーター養成講座、地域回想法リーダー養成講座など) ・一般高齢者の参加したいボランティア活動は、参加の意思がない方を除くと、地域のふれあいサロン、施設ボランティア、話し相手や掃除等の生活支援の順に希望する方が多くあります。 ・高齢化、核家族化による家族形態の変容により、介護保険制度によるサービスだけでは解決できない生活課題があります。そのため、福祉ボランティアの必要性が高まっており、生活支援サポーター等の人材養成が必要となっています。	・高齢者に対する介護予防や生活支援の身近な担い手として活躍できる介護予防サポーターや生活支援サポーターを養成し、地域において活動が実践できるように継続的支援を行います。 ・地域で活躍しているサポーターのPRを市広報誌、CATV、ホームページ等を通じて行います。	実施	(実施内容) ・介護予防サポーターと生活支援サポーター養成講座およびフォロー研修会の開催、活動の場の提供を行いました。 ・介護予防サポーター自主グループの会を開催し、活動に向けての準備を行いました。 ・回想法ボランティアの研修会開催および活動の場の提供を行いました。 ・地域で活躍中の生活支援サポーターの声や様子をリーフレットに掲載しました。	介護予防サポーターや生活支援サポーター等の養成と活動支援に取り組んでいますが、新規の受講者が減少しています。そのため、地域ごとの養成講座等、開催方法を工夫し、さらに人材育成を推進します。	B

## ★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

## 1.高齢者が活躍できることへの支援

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	28年実施状況	28年度具体的内容(次年課題と方向性等)		
	場の確保(P61)	○就業・事業の立ち上げ・ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般高齢者の社会活動は、「特にしていない」の割合が最も高く、次いで「収入のある仕事」「地域の生活改善(美化)活動」が高くなっています。</li> <li>生きがいづくりや介護予防につなげるように、高齢者個人の能力や希望に応じた就労の選択の幅を広げることが求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会との連携により、住民主体の地域活動の立ち上げ支援やボランティア育成、運営支援、ボランティアに関する情報公開等を推進します。</li> <li>高齢者の豊かな経験や技能を活用するための基盤としてシルバー人材センターや就労支援室等の機能充実を支援し、高齢者の就業機会をより多く提供できるように努めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>住民主体の地域活動として、まちかど体操教室の立ち上げ・運営支援および介護予防サポーターの養成を行いました。</li> <li>就労支援室等のチラシを高齢介護課窓口に設置しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動や事業の立ち上げについて関心のある方への情報提供を行いました。今後は、住民主体の地域活動の立ち上げ支援やボランティア育成、運営支援、ボランティアに関して具体的に支援につなげます。</li> <li>生活支援の担い手として、シルバー人材センターとかとう介護ファミリーサポートセンターの役割分担および連携が今後も必要です。</li> </ul>	B
	3 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供方針	○介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な担い手による多様なサービスを充実させるために、住民主体で参加しやすく、地域に根ざした介護予防や生活支援のサービスを確立する必要があります。</li> <li>潜在している地域資源を発掘・育成・連携し、有効に活用するしくみを確立する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民と行政との協働による地域づくりの視点を主眼において、介護予防・生活支援サービス事業を実施します。</li> <li>地域の社会資源などを活かした多様な主体による生活支援サービスの提供体制の構築に取り組みます。そのために、地域の社会資源の把握や生活支援サービスの開発・担い手の育成、関係者のネットワークの構築などを行う「生活支援コーディネーター」の配置と協議体を設置します。(P80参照)</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問型サービスおよび通所型サービスを実施しました。</li> <li>生活支援体制整備事業にて、各生活圏域ごとに「目指す地域像」を共有し互助の体制整備を進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や介護サービス事業所等と協働して、住民主体による訪問型サービスおよび通所型サービスを実施しました。介護予防の意識は高まっていますが、これからは、参加者のモチベーションの維持・継続が課題です。</li> <li>地域の社会資源の把握と地域課題をふまえて、見守り・配食等のその他の生活支援サービスの提供に取り組みます。また、事業を推進する人材の発掘に努めていき、生活支援コーディネーターとともに、活動に取り組んでいきます。</li> </ul>	B
	事業の推進(P65)	○住民主体、NPO、民間企業等多様な主体によるサービス提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生活上の困りごとに対応するため、介護事業者や民間企業、NPO、住民ボランティアなどの参画により、生活支援サービスの開発やネットワークを構築していく必要があります。</li> <li>一人暮らしの高齢者や、高齢夫婦など生活支援を必要とする高齢者の増加に伴い、地域での支え合い活動を促進し、高齢者自身が地域社会を支える担い手として活動していけるよう支援する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、民間企業、NPO、ボランティアなど多様な主体を活用して、重層的な生活支援サービスの提供体制の構築に取り組みます。</li> <li>身近な生活の困りごとに対し、近隣住民同士の助け合いや、地域福祉のマンパワの充実が図れるよう、地域組織などの運営支援や連携の強化を推進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援体制整備研究会において、各地域の実態把握と課題の抽出、社会資源の整理を実施しています。(課題と方向性)</li> <li>今後、協議体において多様な主体を活用した重層的な生活支援サービスの提供体制の構築や地域組織などの活動の活性化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6期は既存の介護事業所によるサービス提供体制の整備を行いました。今後は、住民主体、NPO、民間企業等の多様な主体を活用した重層的な生活支援サービスの提供体制の構築や地域組織などの活動の活性化を図ります。</li> </ul>	C

★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

1.高齢者が活躍できることへの支援

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価 区分
			課題	方向性	28年 実施状況	28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)		
1-3		○通所型サービスの整備（かとうまちかど体操教室、地域回想法スクール、物忘れ予防カフェ、元気応援通所事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動機能低下予防や閉じこもり予防のために、地域の公民館等における自主的なグループづくりを支援しています。</li> <li>要支援認定者の介護保険サービスの利用状況は、通所介護（デイサービス）の割合が半数以上を占め、最も高くなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の通所型サービス（かとうまちかど体操教室等）を全市の各地域において展開できるよう普及啓発及び継続支援を推進します。</li> <li>多様な担い手による多様なサービスの整備として、住民主体の通いの場やミニデイサービス、短期集中予防サービスを新規に調整していきます。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>「かとうまちかど体操教室」の未実施地区に対する普及啓発を行いました。</li> <li>かとうまちかど体操教室の継続運営支援。</li> <li>ミニデイサービス（新規1か所、継続4か所）、短期集中予防サービス（継続2か所）の調整を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民主体の通いの場の立ち上げや継続支援に取り組み、地域展開をすることで参加者が増えました。未実施地区を中心にさらに通いの場が普及拡大していくような地域づくりを推進します。また、地域の通いの場への参加が困難なケースが利用しやすい多様なサービスの整備が課題です。</li> </ul>	A
		○訪問型サービスの整備（日常生活援助事業、かとう介護ファミリーサポートセンター、訪問型介護予防事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者や、高齢夫婦などの増加に伴い、自立した在宅生活が継続できるよう日常生活支援のニーズが高まると予想できます。</li> <li>特に閉じこもり、うつ、認知機能の低下のおそれがある等、心身の状況等により通所型サービスへの参加が困難な方を対象に専門職が居宅を訪問して、生活機能に関する指導を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活支援のニーズを充足するために、かとう介護ファミリーサポートセンターの協力会員の確保をさらに推進します。</li> <li>低栄養や日常生活動作等の改善に向けた支援が必要な方を対象に、保健・医療の専門職による居宅での相談指導を短期集中で行います。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サポーター養成講座やフォロー研修を開催し、協力員の登録を推進しました。（H29.2現在登録者数69人）</li> <li>作業療法士や介護福祉士等の専門職によるアセスメント・相談指導を実施しました。</li> <li>訪問型サービスD（移動支援）のH29年度実施に向けた準備をすすめています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かとう介護ファミリーサポートセンターの協力会員の確保を推進していますが、依頼会員数に比べると不足しているため、さらに確保する必要があります。訪問型サービスD（移動支援）の円滑な実施を進めます。</li> </ul>	A
		○その他生活支援サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が今後重要になると思う施策については「買い物支援、宅配、給食・配食サービスなど食を支えるサービス」が最も多く、より一層の充実や情報提供、利用しやすい体制づくりが求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養改善を目的とした配食サービスや住民ボランティア等が行う訪問による見守りなどのサービス構築に向けて、地域資源の開発を推進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養改善を目的としたサービス等の地域に不足するサービスや活動についての検討を各圏域の協議体において実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養改善を目的としたサービス等の地域に不足するサービスや活動について検討している段階で、提供体制の構築には至っていません。</li> </ul>	C

## ★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

## 1.高齢者が活躍できることへの支援

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性			6期の課題・成果	評価 区分	
			課題	方向性	28年 実施状況			28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)
		○効果的な介護 予防ケアマネジ メント体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護認定の状況は、要支援者は横ばいですが、要介護者は増加傾向です。特に要介護2は5年間で約1.5倍増加しています。</li> <li>要支援者の介護度が重度化しないように、生活機能低下の予防や自立支援に向けて必要なサービスをケアプランに位置づける適切なケアマネジメントを行う必要があります。</li> <li>現行の介護予防給付や介護予防・日常生活支援総合事業サービスを受けている対象者に対し、制度改正の説明・周知とスムーズな移行を図る必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防ケアマネジメントは、専門的な視点から特に生活機能の向上を目指して行われる必要があり、多様な主体による地域資源を有効活用できるような体制づくりと人材育成により、介護予防ケアマネジメントの質の向上に努めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防ケアマネジメント対象者要件の確認やアセスメント、ケアプラン作成等について、事例検討を通して職員間の共有認識を実施しています。</li> <li>介護給付適正化支援事業研修を開催しました。</li> <li>ケアマネジャーの支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者の介護度が重度化しないように、生活機能低下の予防や自立支援に向けて必要なサービスをケアプランに位置づける適切なケアマネジメントを実施することができるよう、研修や事例検討会を実施し研鑽しました。今後も、地域ケア会議等の機会を有効に活用し、引き続き介護予防ケアマネジメントの質の向上に努めるとともに、ケアマネジャーの支援を行っていきます。</li> </ul>	B
		○一般介護予防 事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般高齢者が取り組んでいる介護予防は、「歯や口の中の衛生」「バランスのとれた食生活」「体操教室やウォーキング等の運動」の順に多く、それぞれ4割以上の方が取り組んでいます。</li> <li>一般高齢者が介護予防について知りたいことは、「特になし」を除いて「転倒・骨折予防」「望ましい食生活」「認知症予防」「寝たきり予防」が多くなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動機能の向上、低栄養予防、口腔機能の向上等の介護予防に関する基本的な知識を普及啓発するために、各種講座を地域に出向いて実施します。</li> <li>介護予防サポーターやいきいき隊等の介護予防に関する活動組織の継続的な育成及び支援のために交流会を実施します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防普及啓発事業として、運動・栄養・口腔の各種講座を地域に出向いて実施しました。</li> <li>地域回想法事業やまちかど体操交流会、介護予防サポーター研修会等を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防の基本的知識の普及啓発を地域に出向いて実施しました。また介護予防活動の継続的な活動のための交流会や研修会の中で、お互いの情報交換を行っています。家庭での介護予防の実践につながる効果的な啓発方法やまちかど体操教室では、運営継続のためのリーダーを支える役割が課題となっています。</li> </ul>	A



★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

2.高齢者を地域で支える仕組みづくり

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	28年実施状況	28年度具体的内容(次年課題と方向性等)		
2.高齢者を地域で支える仕組みづくり	1 地域包括ケアシステムの構築(PT73)	○地域包括ケアの推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供できる体制づくりが求められます。</li> <li>アンケート調査から、重点を置くべき認知症対策について、「認知症の早期発見、早期対応に対する取り組み」の割合が高く、そのしくみづくりが強く求められています。認知症高齢者の増加が予測される中、医療とも連携し、軽度認知障害も含めた認知症高齢者を支える地域のネットワークのさらなる強化が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後地域の積極的な取り組みができるよう、出前講座等地域の集まりの場等を通じて、地域との連携を強化します。</li> <li>地域の各団体やさまざまな専門職が連携を図るための地域ケア会議の充実を図ります。</li> <li>地域包括ケアシステムのイメージを住民とともに共有しながら、地域ごとに高齢者のニーズや状態に応じた必要なサービスが切れ目なく提供できる体制を整備します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座(地域ケアホットミーティング)等の機会を通じて、地域包括システムのイメージを共有し地域との連携を強化できればと考えています。今年度21回実施。</li> <li>生活支援体制整備事業にて、各生活圏域ごとに「目指す地域像」を共有し互助の体制整備を進めています。</li> </ul>	(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>H27、28年度で36回の出前講座(地域ケアホットミーティング)等の機会を実施し、地域との連携強化を図りました。</li> <li>多職種が参加する地域ケア会議を開催し、困難ケースの解決を図るとともに関係機関のネットワーク強化を図りました。</li> <li>地域ごとに高齢者のニーズや状態に応じた必要なサービスが切れ目なく提供できる体制を整備するため、H28年11月より生活支援コーディネーターを生活圏域に設置しました。</li> </ul> (課題) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議から地域課題が抽出されていますが、それを解決できるよう努めなければなりません。</li> <li>生活支援コーディネーターが円滑に活動できるよう地域の理解と共に協議体作りにも努めなければなりません。</li> </ul>	B
		○地域包括支援センターの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後高齢者の更なる増加が見込まれる中、地域包括ケアシステムの構築の中核的な役割を担う地域包括支援センターの機能強化が必要です。また、地域医師会との協議等において、在宅医療と介護の連携強化が継続的・効果的に取り組まれることにより、高齢者が自宅で安心して暮らせるための支援体制づくりの推進が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活圏域の状況に応じて、地域包括支援センターのサブセンターやランチの機能強化を図り、地域包括支援センターと密に連携をとることで、効果的かつ効果的な運営を目指します。</li> <li>本市は、地域包括支援センター運営協議会の中で、地域包括支援センターの運営を継続的に評価・点検し機能強化を図ります。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターの総合相談件数3,216件、うち加東市民病院相談窓口170件、滝野ランチ35件、東条ランチ29件</li> <li>関係機関と連携を強化し、継続的・効果的に支援できるよう対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間3000件を超える相談に対応し、市民が安心して暮らせるために適切な支援を実施できるよう努めました。加東市民病院に窓口を設置し、入退院時の円滑な支援に努めました。困難ケース解決に向けて、ランチを委託している社会福祉協議会や生活困窮係等の関係機関との連携に努めました。在宅医療と介護との連携については、H28年度に在宅医療介護連携推進協議会を開催したため、今後も医療・介護の相互理解を深め、連携強化を図っていく必要があります。</li> <li>また、高齢化に伴い、増加する相談や多様化するニーズに対して、適切な相談支援が行える体制整備が必要と思われます。</li> </ul>	B
		○相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の生活や介護などの相談への対応や、地域で生活しづらい課題を抱える方からの相談などを、医療機関や民生委員・児童委員等の関係機関との連携により、早期対応に努めています。</li> <li>今後高齢者の更なる増加が見込まれる中で、地域包括支援センターの機能を強化し、総合相談窓口としての相談体制を構築し、ワンストップで対応することが課題となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のネットワークなどを通じて様々な相談を受け、必要な時に適切な助言や関係機関との連携を通じた対応に努めます。</li> <li>認知症初期相談に適切に対応できるよう、相談援助職向けの勉強会・研修会等を開催します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口としてサブセンターおよびランチ、認知症相談センター(市内6ヶ所)を設置し、できるだけ身近に相談を受けることのできる体制を整備しています。しかし、このままでは増え続ける相談に対応することは困難だと考えますので、今後の体制について検討していきます。</li> <li>総合相談3,216件のうち、認知症相談は683件(約21.2%)でした。この状況に適切に相談できるようには、相談援助職の対応力の向上が課題となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口としてサブセンターおよびランチ、認知症相談センター(市内6ヶ所)を設置し、できるだけ身近に相談を受けることのできる体制を整備し、相談体制の充実を図りました。今後、高齢化に伴い、増加すると想定される高齢者からの相談や多様化するニーズに対して、適切な相談支援が行えるよう体制整備、相談援助職の対応力向上が課題です。</li> </ul>	B

★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

2.高齢者を地域で支える仕組みづくり

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価 区分
			課題	方向性	28年 実施状況	28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)		
2-1		○地域ケア会議の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議においては、個別の事例を通じて地域の課題を把握し、多職種で連携を図りながら地域の実情に応じたサービスができるよう、資源を開発したりネットワークを構築していくことが必要です。具体的には、住民及び民間から提言ができるしくみづくりをしていくことが求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民及び民間から提言ができるしくみづくりを進めます。</li> <li>地域ケア会議での検討を通じて、個別支援の取組みを重ね、地域の実情に応じたネットワークの構築を進めるとともに、全市的な高齢者施策の安定化につなげていきます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・地域個別ケア会議は7回開催。課題整理会議を経て、地域ケア推進会議にて年間報告書を作成しました。 ・今後も、地域ケア会議で抽出した地域課題の解決を目指して、確実に検討を進めていきたいと考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議を定期的開催し、ケアマネジャーの事例に対し、多職種による課題の検討及び、地域からの相談に対し、随時、開催し、課題の解決に努めました。地域ケア会議から抽出された地域課題を整理し、地域の実情に応じた資源の開発やネットワークの構築に努めましたが、地域課題解決が図れる社会資源の開発やネットワークの構築が出来ていない状況にあります。地域ケア会議で抽出した地域課題を解決できるような一体的な仕組みづくりを今後、行っていきます。</li> </ul>	B
		○高齢者の地域での見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らしの高齢者や、高齢夫婦など、生活支援を必要とする高齢者が増加する中、住み慣れた地域で安心して生活していくためには、地域における見守りなどの地域福祉活動による支え合いの必要性が高まっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の住民が、お互いの日ごろの声かけなどにより異変に気づき相談機関などへつなぐ、高齢者を地域で見守るネットワークを構築していきます。</li> <li>民生委員・児童委員との協力のもと、独居高齢者や高齢者世帯の訪問活動を行い、確認された要援護高齢者については必要に応じて相談窓口につなぎ、後は定期的な見守り活動を行います。</li> </ul>	実施	(実施内容) 福祉票を用いて見守り等の支援が必要な世帯情報を市、社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの関係機関で共有しています。 H28.1～H29.2新規登録 179件 独居114件 高齢世帯 44件 その他 21件	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員・児童委員の協力のもと、高齢者世帯の訪問活動を行い、要援護高齢者については関係機関へつなぐ等、見守り活動を行いました。</li> <li>民生委員・児童委員や社会福祉協議会だけでなく、フォーマル、インフォーマルの社会資源を活用し、高齢者を見守るネットワークを構築していきます。</li> </ul>	B
		○地域サポート型特養24時間体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年から22年の間で、独居高齢者世帯が2倍以上、高齢夫婦世帯が1.5倍以上に増加しており、今後も増加が見込まれます。</li> <li>兵庫県は、高齢者の在宅生活の更なる延長を図るため、生活援助員(LSA)などを配置して地域住民を対象に見守り等を行う特別養護老人ホーム(地域サポート型特養)を支援しており、本市でも対応が必要となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホームに生活援助員(LSA)を配置することにより、24時間対応可能な態勢で、独居の高齢者や認知症の人がいる高齢者世帯等の見守りを行う支援体制の整備に努めます。</li> </ul>	未実施	24時間見守り体制としては、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備も現在進めており、それと合わせて地域サポート型特養24時間体制について29年度中に特別養護老人ホームに協力依頼し調整していく予定としています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域サポート型特養については、市内の特別養護老人ホームに協力依頼を行ったが、職員の人員不足なども影響し、その事業所に体制整備が整っていないのが現状です。引き続き特別養護老人ホームに協力依頼を行っていきます。</li> </ul>	C



★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

2.高齢者を地域で支える仕組みづくり

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価 区分
			課題	方向性	28年 実施状況	28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)		
		○生活支援の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、多様な生活上の困りごとへの支援が特に必要となる独居高齢者世帯や高齢夫婦世帯の中で大きな役割を占めていくことを踏まえ、地域住民等の力を活用した多様な生活支援サービスを充実していくことが求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加に向けて、生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置します。</li> <li>地域のニーズにあった多様な生活支援サービスを、自治会等の住民組織を始め、介護事業者を含めたNPOや民間企業、住民ボランティア等との連携を図ることにより、多様なサービスを地域で提供し、高齢者の在宅生活の継続を支援します。</li> <li>サロンの開催や、見守り、外出支援などの生活支援サービスの提供を通じて、地域の支え合い活動を促進するとともに、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながることから、高齢者が担い手としても活動していくことを促進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度4月より、滝野および社地域の圏域毎に生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置に向けての準備調整会を随時開催しました。</li> <li>11月 各圏域に生活支援コーディネーターの配置が完了しました。</li> <li>協議体の設置については、圏域ごとに進捗状況に差がありますが、それぞれの圏域における地域課題の抽出や課題解決に向けての検討が進んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年11月から、3つの生活圏域にそれぞれ生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握や地域課題の抽出を実施しました。また、地域の実情によって取り組み状況は異なりますが、協議体の設置に向けて取り組みました。今後も、地域の人材を発掘し、生活支援コーディネーターや協議体とともに活動することにより、地域住民が主体となった生活支援サービスの創出を進めます。</li> </ul>	C
		○高齢者の権利擁護の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に「加東市高齢者虐待防止・養護者支援マニュアル」を作成し、虐待防止及び虐待の早期発見・早期支援を目指し、警察、民生委員・児童委員、介護サービス事業者等と積極的に連携を図りながら対応しています。携帯電話で休日、時間外の相談体制(高齢者虐待ホットライン)を構築しています。</li> <li>機関紙「おたっしゃだより」、ケーブルテレビ「おたっしゃ通信」等にて高齢者の虐待防止に関する普及啓発を行っています。</li> <li>兵庫県社会福祉士会及び兵庫県弁護士会の「高齢者虐待対応専門職チーム」と契約し、専門的な観点から助言を仰ぎ、早期解決が図れるよう取り組んでいます。</li> <li>成年後見制度の普及啓発・専門機関への相談援助等を実施しています。親族からの申し立てを支援、または、申し立てを行える親族がないと思われる場合は市長申し立てにつなげます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターは、虐待の早期発見・相談の窓口として、地域や関係機関等と積極的に連携を図りながら対応していくとともに、「加東市高齢者虐待防止・養護者支援マニュアル」に基づきそのしくみづくりを進めていきます。</li> <li>地域包括支援センター職員はもとより、介護サービス事業所職員等の関係機関とのネットワークをさらに強化するとともに、高齢者虐待への対応能力の向上を図ります。</li> <li>研修会の開催やパンフレット等の活用により、成年後見制度の利用を促進するとともに、適切な相談対応や支援に努めます。</li> <li>高齢者の尊厳と安心を守る地域支え合いのしくみづくりを推進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者虐待として相談対応したケースは12ケースあり、受理したケースは7件です。マニュアルに基づき、適切に対応しています。</li> <li>8月に高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催し、年次報告および今年度の虐待対応で対応困難ケースについて協議しました。</li> <li>介護サービス事業所職員や民生児童委員等を対象に、高齢者の異変や家族の介護負担に気づくための研修を実施しました。</li> <li>ケーブルテレビやおたっしゃ便り、市広報にて、高齢者虐待防止、消費者被害や成年後見制度の啓発をしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の早期発見・早期支援を目指し、警察、民生委員・児童委員、介護サービス事業者等と積極的に連携を図るとともに、携帯電話で休日、時間外の相談体制(高齢者虐待ホットライン)を整備しております。毎年、虐待防止に向け、介護サービス事業所職員や民生児童委員等を対象に、高齢者の異変や家族の介護負担に気づくための研修を実施しました。高齢者の権利擁護が図れるようケーブルテレビや市広報等の媒体を通じて、高齢者虐待防止、消費者被害や成年後見制度の啓発をしました。深刻な虐待事案や重層化した困難事案に対応すべく兵庫県社会福祉士会及び兵庫県弁護士会の「高齢者虐待対応専門職チーム」と契約し、専門的な観点から助言を仰ぎ、早期解決が図れるよう取り組んでいます。早期解決には、職員の資質向上及び関係機関が円滑に連携することが必要な事案が増加しています。そこに対応していく必要があります。</li> </ul>	B

★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

2.高齢者を地域で支える仕組みづくり

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価 区分
			課題	方向性	28年 実施状況	28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)		
	2 多様な生活支援の充実 (P83)	○多様なサービスの充実(老人等給食サービス、外出支援サービス、福祉機器・用具の貸与、生活管理指導短期宿泊事業、日常生活用具給付・貸与事業、緊急通報システム貸与事業、はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術費助成事業、福祉タクシー利用券助成事業)	・本市の地理的な条件から、生活支援サービスのニーズについて、特に移動支援や買い物支援、宅配、給食・配食サービスのニーズが高まっており、介護予防・日常生活支援総合事業のより一層の充実や情報提供、利用しやすい環境整備が求められます。	・一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、買い物支援のニーズが高まる中、自立した生活を支援するため宅配サービス業者一覧パンフレットの配布等、様々な生活支援サービスの普及啓発や新たな生活支援サービスの検討調整に取り組みます。 ・移送サービスについては、ニーズに対応できるよう、様々な方向から検討を行い、NPO法人等に移送サービスの提供を求めていきます。	実施	(実施内容) ・27年度に独居および高齢者のみの世帯を中心に配布した「買い物お助け帳」の利用状況調査を行いました。 ・買い物支援のニーズに対応できるように、地域に不足するサービスや活動についての検討を各圏域の協議体において進めています。 ・訪問型サービスD(移動支援)のH29年度実施に向けた準備をすすめています。	・買物支援のニーズが高まっていることから、宅配サービス業者一覧パンフレットを配布しましたが、情報提供のみでは利用につながらないため、利用しやすいサービスや環境整備についての検討を生活支援体制整備事業を中心に進めます。	B
		○家族介護者を地域で支える施策の推進(家族介護者のつどい、物忘れ予防カフェ、家族介護用品支給事業)	・要介護者を介護している家族の方には、経済面、精神面ともに、様々な負担がかかります。そうした家族の方同士の交流の場を提供し、介護者を支援しています。	・家族介護者の心身のリフレッシュを図るとともに、介護者相互の交流を深めるための各種交流事業を行い、参加しやすいプログラムの立案、普及啓発に努めます。	実施	(実施内容) ・専門職による個別訪問や来所相談を開催し、助言・指導を受けられる機会を設ける他、介護者相互の交流を図る交流会を開催しています。 ・市内事業所の茶話会とも連携し、家族介護者が参加しやすい介護者教室、交流会を開催します。	・専門職による個別訪問や家族介護者相互の交流を図る交流会を開催しましたが、参加者の固定化、減少が課題です。市内事業所とも連携し、家族介護者教室や茶話会など相談できる場所づくりを行います。	B
	4 居住・生活環境の整備・充	○高齢者にやさしい居住環境づくりの推進(人生80年いきいき住宅助成事業等)	・住まいについては、高齢者の多くに現在の住居で暮らし続けたいとの思いが見受けられます。住宅改修のニーズも高いため、今後も生涯を通して安全・快適に生活できるような居住・生活環境の整備を進めていく必要があります。	・介護保険制度と連携した住宅改修の効果的な利用を促進するとともに、住宅のバリアフリー化についての相談、情報提供の充実に努めます。	実施	(実施内容) 人生80年いきいき住宅助成事業 特別型 11件 一般型 5件	・介護保険制度と連携した住宅改修の効果的かつ適切な利用のために、本人・家族、介護支援専門員、住宅改修業者との連携を図りながら、必要性や緊急性を十分に評価していきます。	A
		○福祉のまちづくりの推進	・高齢者がいつでもいきいきと生活し、活動できる安全・安心で快適なまちづくりが求められます。	・高齢者が生活しやすいまちづくりを進めるために、公共施設や道路整備におけるバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めるとともに、保険・医療・福祉の連携による施設の有効利用や多機能化を進めます。	実施	公共施設や道路環境のバリアフリー化に取り組みました。	・公共施設や道路環境のバリアフリー化をさらに進め、高齢者が生活しやすい環境づくりを推進します。	B

★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

2.高齢者を地域で支える仕組みづくり

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価 区分
			課題	方向性	28年 実施状況	28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)		
	実施 (P87)	○安心して暮らす居 住の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の住まいについて、要介護・要支援認定者の約7割の方が、「現在の住居で暮らし続けたい」と回答しています。</li> <li>高齢者自身の意思や人格が尊重され、能力に応じて自立した生活を営むことが出来るよう、相談、支援の体制の整備が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域にある軽費老人ホームなどの保健・福祉施設の設置や利用状況の把握に努め、相談、支援を行います。</li> <li>地域や家庭との結びつきを重視し、広域的に社会資源を活用しながら、安心して暮らす居る場を確保します。</li> </ul>	実施	住環境、社会資源の状況に関する相談、支援に取り組みました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が可能な限り住み慣れた自宅で自立した生活ができるよう、住環境の改善・向上に関する支援を提供します。また、在宅での生活が困難な人に対しては、広域的な社会資源の状況を的確に把握しながら、情報提供や必要な支援を行います。</li> </ul>	B
	5 災害時・緊急時の支援体制の充実 (P89)	○市民の防災意識の向上のための取組み(安心救急情報キット活用事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後重要になるとと思われる施策の中で「自主防災組織等との連携など災害時の援護体制の整備」を選んだ高齢者は1割程度で、より一層の防災意識の向上のための取組みが必要です。</li> <li>一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯をはじめ、災害時要援護者台帳登録者を対象に安心救急情報キットを配布しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者の把握や自主防災組織の活動を支援し、地域における防災対策を推進します。</li> <li>災害時要援護者台帳の情報提供を進め、地域の防災意識を高めていきます。</li> <li>安心救急情報キットの活用を支援することにより、住民自らが救急時・災害時に対する意識を高めていきます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・災害時要援護者台帳を区長および民生委員・児童委員に配布することで平常時から情報共有しています。災害時要援護者台帳の更新は年1回実施しています。 ・災害時要援護者台帳登録者に安心救急情報キットを配布しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者台帳の情報提供を推進することで、地域の防災意識は高まっていますが、地区によってばらつきがあります。担当課と連携しながら防災意識の向上に努めます。</li> </ul>	B
	2-5	○安否確認・避難誘導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者登録台帳を整備し、民生委員・児童委員や地区組織との情報共有を図っています。</li> <li>地域の民生委員・児童委員や地区組織と連携して、災害時における支援体制の充実を図る必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に自力で避難することの困難な高齢者や障害のある人などを地域で支援していく「災害時要援護者避難支援」の取組みを進めます。</li> <li>地域の民生委員・児童委員や区長との連携強化を図り、要援護者台帳の整備、福祉票の活用にも努め、災害時の避難支援体制の構築を推進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・災害時要援護者台帳の配布とともに、災害時の避難支援体制の整備を地区に依頼しています。 ・要介護者や障害者、福祉票が提出者へ災害時要援護者台帳への希望登録調査を実施し、台帳整備を進めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者台帳の配布とともに、災害時の避難支援体制の整備を地区で進めています。引き続き、整備が進みにくい地区に対して、災害時における支援体制の構築について推進します。</li> </ul>	B
		○社会福祉施設等との防災協定に基づく避難所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の指定避難所以外に、市内介護保険事業所等と福祉避難所として利用できるよう防災協定を結んでおり、避難期間中、安心して過ごせる生活環境を確保しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者の個別支援プラン作成に併せ、福祉避難所に受け入れる者の概数把握を行い、具体的な避難支援方法等について平常時から関係機関・団体、地域住民等との連携に努めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・地域における避難支援体制づくりと個別支援プランの作成を地区に依頼しています。その中で、具体的な避難支援方法等について平常時から確認するように進めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内介護保険事業所等を福祉避難所として確保していますが、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため、地域における避難支援体制づくりに合わせて、個別支援プランの作成を推進します。</li> </ul>	B



★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

3.認知症支援体制の整備

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性			6期の課題・成果	評価 区分	
			課題	方向性	28年 実施状況			28年度具体的内容 (次年課題と方向性等)
3 ・ 認知症支援体制の整備	1 認知症高齢者への支援の充実（P91）	○認知症ケアパスの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートでは、要介護認定を受ける原因疾患として、「整形外科疾患」が16.4%について、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が15.6%となっています。</li> <li>認知症高齢者も今後さらに増えることが予想される中、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためには、認知症に関する情報が散在するのではなく、一元化しわかりやすくする必要があります。そのために、認知症を在宅で支援する医療や介護サービスの情報を体系的に整理するとともに、地域や市の標準的な情報を提供できるような体制の整備が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「認知症の人やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した場合に、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいか理解できるためのもの」すなわち「認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）」を作成し周知を進めていきます。</li> <li>早期発見・早期治療への支援や住み慣れた地域で安心して生活できるように、かかりつけ医等の医療との連携も含めた認知症高齢者を支える地域のネットワーク体制の整備・強化に取り組みます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・認知症ケアパスはすでに作成しており、それを盛り込んだ「認知症資源マップ（改訂版）」を作成中です。 ・認知症ケアパスに記載されている関係機関（介護支援専門員やかかりつけ医、認知症疾患医療センター等）とのネットワークを強化し、支援がスムーズに実施できる体制を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）」を作成するとともに、認知症に関する情報をまとめた「認知症資源マップ」を活用し、市民に認知症の情報が分かりやすく伝わるように努めました。また、毎年、情報更新を行い、最新の情報提供に努めました。</li> <li>早期発見・早期治療への支援や住み慣れた地域で安心して生活できるように、認知症初期集中支援事業を開始しております。</li> <li>ケアパスを盛り込んだ「認知症資源マップ（改訂版）」を作成中であり、完成後、その周知を進めていきます。</li> <li>また、地域のネットワーク体制の構築には、認知症初期集中支援事業を積極的に進める必要があります。</li> </ul>	A
		○認知症の早期発見・早期支援への取組み（物忘れ相談プログラムの活用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の前段階といえる軽度認知障害（MCI）の段階で早期発見・予防をして、年齢相応まで回復させたり、できるだけの状態を維持することが大切です。</li> <li>認知症を発症しても、初期の段階であれば、薬の効果も出やすいので、できるだけ早期に受診して症状の軽い状態を維持することが望めます。</li> <li>認知症高齢者の増加が予測される中、早期発見、早期治療につなげるための医療との連携の強化が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽度認知障害（MCI）についての相談に、適切に対応します。</li> <li>物忘れ相談プログラムを活用し、認知症になる前段階（予備軍）の状態である軽度認知障害（MCI）の人を早期に発見し、早期治療につなげます。また、中期や高齢期の健康づくりへの支援と介護予防、認知症予防を推進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・まちぐるみ総合健診で脳の健診を実施し、MCIの人の訪問を実施し相談に応じています。健診者数513人12点以下61人で出現率11.9% ・毎年、地域ケア市民フォーラムや秋のフェスティバル等の事業で、認知症の早期発見の重要性を啓発し、物忘れ相談プログラムの体験コーナーを設置しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の早期発見や支援に向けて、まちぐるみ総合健診で物忘れ相談プログラムを実施し、訪問や相談に応じました。</li> <li>まちぐるみ総合健診では、毎年、500人以上の健診があり、認知症予防の啓発及び、早期発見につながっています。</li> <li>現在、まちぐるみ総合健診の他に秋のフェスティバル等のイベント時に物忘れ相談プログラムの体験コーナーを設置していますが、より多くの方が早期発見につながるような機会を設けるとともに、認知症の疑いのある方の医療受診を支援することが課題です。</li> </ul>	A
		○認知症初期集中支援チーム・認知症地域医療連携の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症は、なるべく早い時期から関わり、生活環境を調整し、不安を取り除いていけば、それまでと同じような生活を送ることができます。少しでも早くから集中的に関わり、その後の支援体制をつくっていくことが重要です。</li> <li>認知症高齢者の増加が予測される中、高齢者に対する保健・医療・福祉等の多様なサービスが身近なところで早期にかつ包括的に提供できる支援体制を確立するためには、関係機関や医師会等と連携し、認知症高齢者を支える地域のネットワークの強化が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チームは、専門医・医療関係者・介護関係者から編成し、直接自宅を訪問し、本人・家族と専門医をつなぐ役割を担う支援チームです。この認知症初期集中支援チームを編成し、認知症の早期発見・早期支援を推進します。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・認知症の早期発見と早期介入を目指して、認知症初期集中支援事業を6月より開始しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チームの設置により、認知症関係機関との連携がとりやすくなりましたが、医師会以外の地域のネットワークの強化が課題です。</li> </ul>	B

★加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(事業内容)

3.認知症支援体制の整備

基本 目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性			6期の課題・成果	評価 区分	
			課題	方向性	28年 実施状況			
3-1		○認知症地域支援推進員の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域の医療機関や介護サービス事業所及び地域の支援機関などをつなぐコーディネーターの存在が重要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に認知症地域支援推進員を配置しており、引き続き、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図ります。</li> </ul>	実施	(実施内容) 現在、認知症地域支援推進員を3名配置しており、主に認知症総合支援事業を推進しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症地域支援推進員を配置しており、啓発事業やひとり外出見守り・徘徊SOSネットワーク、認知症サポーター養成講座等の多岐にわたる認知症総合支援事業をさらに推進していく必要があります。</li> </ul>	B
		○地域における支援体制の構築 (認知症サポーター養成講座・家族への支援など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症になっても笑顔で暮らすことができるよう、すべての市民が認知症を正しく理解し、協力し合いながら、認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」になることを目指します。</li> <li>日頃からの認知症の本人やその家族への声かけや見守り、地域ぐるみでの助け合い活動を進めることが望まれます。</li> <li>認知症の介護者の負担を軽減するための方策が必要です。</li> <li>認知症になっても、地域の身近な場所で地域住民が主体となった活動に継続的に参加できるような支援の充実が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や企業、団体、学校などでの「認知症サポーター養成講座」の開催を進め、サポーターを増やしていきます。また、講座の講師役となるキャラバン・メイトも、随時養成します。</li> <li>認知症の人の家族の介護負担を軽減するため、認知症の人とその家族、地域住民や専門職などの交流の場(家族介護者のつどい・物忘れ予防カフェ)を開催します。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・今年度、キャラバン・メイトを2名養成し、すでに活動しています。 ・認知症サポーター養成講座を6回開催し、延151人の認知症サポーターを養成しました。 ・認知症の家族介護者のつどいを立ち上げました。 ・物忘れ予防カフェは、平成25年度より取り組み始め、現時点で7ヶ所開催しています。今年度初めて「民家型」のカフェを作ることができました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>非活動のキャラバン・メイトが多いが、新しく養成したキャラバン・メイトが精力的に活動しています。地域からの要請に応じて認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを養成しましたが、その後の活動につなげることができていません。認知症の家族介護者のつどいや認知症カフェ等での活動の場を提供できるような仕組みづくりをしていきます。</li> <li>認知症の家族介護者のつどいについては、参加者の固定化、減少が課題です。</li> </ul>	C
		○ひとり外出見守り・徘徊SOSネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃の地域のつながりを活かし、見守り・声かけすることで高齢者が安心してひとり外出ができ、徘徊行方不明を予防できるまちづくりを進めています。</li> <li>平成22年に「ひとり外出見守り・徘徊SOSネットワーク」を構築し、平成23年度から対応を開始しています。</li> <li>アンケートでも、「自治会や事業所などの連携による高齢者を地域で見守り、支えるネットワークづくり」が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もネットワークの周知と協力体制を推進するとともに、行方不明の危険がある高齢者の事前登録を進めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・今年度の事前登録者8人(総登録75人) ・協力機関229事業所 ・10月 ひとり外出見守り・徘徊SOSネットワーク会議を開催し、現行のマニュアルの内容を見直しました。それをもとに、マニュアルの改訂版を作成中です。 ・今年度も、わんわんパトロール事業(生活課での狂犬病予防接種の事業にあわせて、気になる高齢者の見守り等を啓発および依頼するグッズを配布)を実施する準備を進めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の人が安心してひとり外出できるよう同ネットワークの周知及び改善を図りました。</li> <li>見守り支援者を増やすため、狂犬病予防接種時に啓発を実施したり、山間部等、人の少ない地区の見守り支援のため、GPS購入の助成事業を開始しました。</li> <li>見守り体制整備と行方不明時の対応を分かりやすく伝える為、マニュアルの改訂を行いました。</li> <li>同ネットワークの啓発を今後行うとともに見守り協力機関や協力者を増やしていくことが課題です。</li> </ul>	A
		○若年性認知症の人とその家族の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳未満で認知症を発症する「若年性認知症」は、働き盛りで発症するため、本人及び家族にとって、経済的・心理的影響が大きいことが問題です。</li> <li>若年性認知症は、病気の進行が早いいため、早期に受診し診断を受けることが大切です。そして、症状が軽いうちに生活の工夫をしたり、将来の計画を立てることが求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の本人や家族の思いに寄り添えるような支援ができるよう、相談援助職の質の向上を目指します。</li> <li>就労支援を含め、日常生活継続のために利用できる制度の周知を図ります。</li> <li>若年性認知症の当事者と家族の会を立ち上げ、その人らしい生活が継続できるように支援します。</li> <li>若年性認知症についての理解が進むよう普及啓発するとともに、本人やその家族の地域生活の支援に努めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・マイハウスみので「気まま若年カフェ ふらっと」を月に1回開催し、市外からも当事者とその家族も参加されています。 ・現在の市内の相談者 13人 ・本人の会として、パートナーとともに、カフェ等の社会活動にも参加しています。 ・県の若年性認知症相談センターの本人会議等の事業にも全面的に協力しています	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス事業所と協働で、「気まま若年カフェ ふらっと」を月に1回開催し、市外からも当事者とその家族も参加されています。また、県の若年性認知症相談センターとともに、県内の活動へと広がっています。今後は、本人の役割の創出および生きがいの獲得のために、地域のNPO法人等と協働して「就労の場」づくりに取り組みます。</li> </ul>	A



4.介護サービスの充実強化と医療との連携強化

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	28年実施状況	28年度具体的内容(次年課題と方向性等)		
4・介護サービスの充実強化と医療との連携強化	4-1	1 整備(PIO)サービス提供基盤の整備	○サービス提供基盤の整備 第5期(平成26年度)までに、特別養護老人ホームの増床、日常生活圏域ごとに地域密着型サービスの整備を行いました。概ね施設整備は完了したため、本計画では、施設等の整備は行わず、既存施設のサービスの利用を促進し、内容の充実を図っていきます。また、独居や高齢者世帯の方が在宅生活を継続するために、24時間見守り体制の整ったサービスの整備が必要です。	既存施設のサービスの利用を促進し、内容の充実を図っていきます。また、独居や高齢者世帯の方が在宅生活を継続するために、24時間見守り体制を整備する。	実施	(実施状況) 27年度、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者の公募をし、今年度、事業所整備を実施しました。	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を行い、在宅ケアが必要な方の支援体制を行う選択肢ができました。 既存サービスの利用を促進することについては、利用の伸びない施設もあり、サービス内容の質を上げることによる利用促進が必要です。	A
	4-2	2 地域密着型サービスの提供基盤の整備・充実(PIO)	○サービス提供体制の充実 ・小規模多機能型居宅介護は各圏域に1カ所ずつ整備され、利用者の増加がみられますが、認知症対応型通所介護の利用は伸びておらず、滝野地域には認知症対応型通所介護事業所はありません。 ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)については、各圏域に1カ所ずつ整備されており、待機者は比較的多くありませんが、特別養護老人ホームの入所が要介護3以上に原則重点化されることによる、需要の拡大が予測できます。	・認知症高齢者も今後さらに増えることが予想できることから、認知症対応型通所介護については、サービス内容の周知をはかり、既存施設の利用の促進を図ります。 ・滝野地域における認知症対応型通所介護の整備は、全体の需要が増加する見込みとなった時点で、新たに整備することとし、第6期においては整備を見送ります。 ・認知症対応型共同生活介護については、今のところ多くの待機者がいる状態ではないため、第6期における整備は見送ります。	実施	(実施状況) ・現状では、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型通所介護事業所については空きがあり、認知症対応型共同生活介護事業所については、満床ではありませんが待機者も少ないため、第6期においては整備を見送りました。 小規模多機能型居宅介護 3事業所 登録定員83人、登録者57人/月 認知症対応型共同生活介護 3事業所 定員45人、利用者45人/月 認知症対応型通所介護 1事業所 定員12人、利用者7人/日(H29年1月末現在) ・窓口の相談において、認知症高齢者には認知症対応型通所介護について、サービス内容の周知を図っています。	・既存施設の利用については、認知症通所介護や小規模多機能型居宅介護のサービス内容について、まだまだ理解が低く、利用者が伸びていない施設があり、認知症対応型通所介護は、1施設休止となりました。新しく整備された定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用促進も、施設の維持・確保に努めていきます。	B
			○地域密着型サービスの整備	・特別養護老人ホームの入所者が、要介護3以上に重点化されたことを受け、24時間見守り体制を整備し、出来る限り在宅生活を継続できるサービスの整備が必要です。 ・制度改正により、平成28年4月から、小規模通所介護が地域密着型サービス等へ移行されることから、利用者が可能な限り自宅に近い事業所を利用できるよう地域の实情に応じたサービス提供体制の確保を図る必要があります。 ・地域包括ケアシステムの中核的な役割を担う重要なサービスとして位置づけ、今後高まる需要に対応するため、計画的に整備を進めていく必要があります。	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を1カ所整備し、また市内全域について、特別養護老人ホームに兵庫式LSA(生活援助員)を配置するよう働きかけ、主に独居や高齢者世帯が在宅生活を継続できるよう、見守り体制を充実させます。 ・制度改正により、平成28年4月から、定員18人以下の小規模通所介護事業所が地域密着型サービスへ移行されることから、利用者が可能な限り自宅に近い事業所を利用できるよう、地域の实情に応じたサービス提供体制の確保を図ります。なお、第6期においては、新規を公募する予定はありません。	実施	(実施状況) ・今年は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備を実施しました。 ・制度改正により、平成28年4月から、定員18人以下の小規模通所介護事業所が地域密着型サービスへ移行しました。 地域密着型通所介護 9事業所 定員127人、利用者89人/日(H29年1月末現在)	・施設の整備については、計画通り進んできた。今後は地域密着型通所介護事業所も含めた、既存施設のサービス内容の充実が必要であり、加えて、生活圏域ごとにバランスの取れた提供体制を整える必要があります。

## 4.介護サービスの充実強化と医療との連携強化

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	28年実施状況	28年度具体的内容(次年課題と方向性等)		
4-3	3 居宅サービス・施設サービス(P104)	○居宅サービスの提供基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が介護を必要とする状態になっても、その人らしく、安心して生活ができるよう、利用者の実情に応じた居宅サービスの提供が求められます。</li> <li>通所介護(デイサービス)利用者の割合が高く、居宅サービス給付費の増加につながっています。</li> <li>医療的なニーズが増え、訪問看護の利用者が多くなってきています。</li> <li>要支援者の予防訪問介護と予防通所介護が介護給付から地域支援事業へ移行することにより、サービス提供体制の充実が必要となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各サービスに対する利用者のニーズなどを正確に把握し、それに基づき、量的な整備目標を設定し、サービス利用者の見込みに応じた量の確保と、その安定的な供給体制の確保・充実に取り組みます。</li> <li>訪問系サービスも組み合わせながら、利用者の自立支援に資する適切なケアプランの推進のために、ケアプランの点検を実施します。(P119参照)</li> <li>要支援者の受け皿として、介護予防・日常生活支援総合事業の推進に取り組み、生活支援コーディネーターを中心に、介護予防・生活支援サービスの充実を図ります。(P66参照)</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>利用見込に応じたサービス量の確保はできている。</li> <li>包括、個別点検、実地指導時、その他申請時に、ケアプラン点検を実施している。</li> <li>予防訪問介護の移行については、27年度中にほぼ移行完了し、予防通所介護の移行についても、平成28年度末で、市外事業所の利用者を除き、ほぼ完了する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護者の利用見込に応じたサービス量の確保はできています。要支援者については、介護予防・日常生活支援総合事業の推進に取り組み、介護予防・生活支援サービスの充実を図りました。</li> <li>通所介護(デイサービス)利用者の割合が高く、居宅サービス給付費が増加しているため、利用者の自立支援に資する適切なケアプランを推進します。</li> </ul>	B
		○施設サービスの提供基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6期計画以降における介護サービス基盤整備については、平成37年を目標年と定め、これに向けて計画的な施設等の整備を進めていく必要があります。</li> <li>介護施設サービスについては、制度改正に伴い、要介護2以下の認定者が施設サービスを原則利用できなくなることから、軽度の待機者の受け皿として在宅サービスのうち居住系サービスの充実などが求められることが予測できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護老人福祉施設については、25年度に60床の増床等を行った結果、緊急性の高い待機者が減少しました。したがって第6期期間中の整備は見送ります。</li> <li>介護老人保健施設については、他の施設に比べて待機者が少なく、近隣市の施設も利用可能なため、第6期では整備を見送ります。</li> <li>介護療養型医療施設については、平成30年3月に廃止されるため、現在の利用者を他の施設サービス及び医療療養型へスムーズに移行できるよう支援していきます。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>介護療養型医療施設の現在の利用者(9名)の移行については、医療制度の改正に注視しながら、状況を把握し、円滑に移行できるよう支援していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状では、待機者の人数等も踏まえると、介護施設サービスの第7期中の新たな整備は必要ないと思われるが、施設サービス入所に至らない方で、在宅での生活が困難な方の居場所については検討が必要です。</li> </ul>	B
4-4	る4 こと 利用 者が 適切 (P108)	○介護サービスの積極的な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度改正による、混乱が予測される中、介護保険制度のより一層わかりやすい情報の発信が必要です。</li> <li>地域包括支援センターの機能強化につとめ、利用者が多様なサービスから自分に合ったサービスを選択できる体制づくりが求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターを中心として、介護に関する身近な相談窓口の強化や援助を図る体制、制度のわかりやすい周知を進めます。</li> <li>地域包括ケアシステム構築の観点から、現在公表されている介護サービス事業所に加え、地域包括支援センターが掲載の対象となることから、適切な情報の公開を行います。</li> <li>インターネットだけでなく、紙媒体を用いて窓口等で周知します。</li> <li>各種行事や出前講座などの機会を積極的に使い、わかりやすい情報提供を行います。</li> </ul>	実施	(実施内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターが掲載の対象となることから、適切な情報の公開します。</li> <li>介護サービス一覧表を作成しています。また、窓口ですべての介護サービス事業所のパンフレットを配置し住民の方がいつでも手にとれるようにしています。「介護サービスの虎の巻」を必要時に配布するための冊子を作成しています。これらを総合的に活用し、中立、公正に利用者及び家族が自らの意志でサービスを選択できる環境を整えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス一覧表を作成しています。また、窓口ですべての介護サービス事業所のパンフレットを設置し、住民の方がいつでも手にとれるようにしています。「介護サービスの虎の巻」(冊子)を毎年情報更新し、相談時に必要に応じて相談者に提供できるようにしています。これらを総合的に活用し、中立、公正に利用者及び家族が自らの意志でサービスを選択できる環境を整えています。</li> </ul>	A

4.介護サービスの充実強化と医療との連携強化

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	28年実施状況	28年度具体的内容(次年課題と方向性等)		
	4-6	6 地域の医療との連携強化(P116)	<p>○医療と介護の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護、それぞれがサービスを提供する体制から、高齢者の生活の質の向上を目的とした医療と介護の連携によるチームケアの体制の実現を目指す必要があります。</li> <li>・認知症高齢者のケアについては、かかりつけ医や認知症疾患医療センター及び精神科病院等との連携を推進することが必要です。</li> <li>・住み慣れた自宅で最期を迎えたいという希望が多い一方で、病院で最期を迎える割合が高くなっています。そのため、在宅医療を進める取り組みを行い、安心して生活を継続できる体制を構築する必要があります。</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりが求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療及び介護に関わる多職種の関係者が、連携して課題を抽出し解決策を話し合う地域ケア会議を実施します。</li> <li>・北播磨圏域で推進している「退院調整に係る医療と介護の連携ルール」に従って、病院と在宅の連携をさらに強化していきます。</li> <li>・医師会・行政・介護支援専門員等で構成する「地域ケア・かかりつけ医連絡会議」を定期的開催しながら、在宅医療及び介護に関わる多職種の者が一堂に集う会議の開催や相互の職種を理解するための研修会を実施するとともに、地域の医療や介護における情報の発信や共有ができる事業に取り組みます。</li> <li>・関係者間の顔の見える関係づくりを進め、在宅医療と介護に関わる多職種の連携促進を図ります。</li> <li>・認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活するため、認知症疾患医療センターをはじめ、保健・医療・介護機関等と連携を図りながら、地域における医療機関等の紹介や認知症高齢者への対応、総合的な相談体制を強化します。</li> <li>・医療との連携シートや自己紹介シート・つながりノート・相談ノート等をケースに応じて活用していきます。</li> </ul>	実施	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会・薬剤師会・行政・介護支援専門員等で構成する「地域ケア・かかりつけ医連絡会議」を定期的開催し、アンケートによる連携の課題の抽出や事業の方向性を検討しています。</li> <li>・北播磨圏域で推進している「退院調整に係る医療と介護の連携マニュアル」を運用しています。</li> <li>・7月 在宅医療及び介護に関わる多職種の代表による在宅医療・介護連携推進協議会を開催しました。</li> <li>・9月 住民啓発のためのシンポジウムを開催しました。今後も、地域の医療や介護における情報の発信や共有ができる事業に取り組みます。</li> <li>・3月 多職種が顔の見える関係づくりを進めるため、多職種連携の会を開催予定。</li> <li>・医療との連携シートや自己紹介シート・つながりノート等を再検討しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア・かかりつけ医連絡会および在宅医療・介護連携推進協議会の位置づけや役割を明確にすることができました。</li> <li>・住民啓発のためのシンポジウムの円滑な実施により地域の医療や介護における情報発信に取り組み、在宅医療と介護を一体的に推進します。</li> </ul>	B



5.介護保険制度運営の適正化

基本目標	施策名	具体的施策・事業	各事業実施状況及び課題と方向性				6期の課題・成果	評価区分
			課題	方向性	実施状況	具体的内容 (次年課題と方向性等)		
5 介護保険制度運営の適正化	5-1	1 (P117) ○事業所監査指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に対する適切な介護サービスを確保することにより、介護保険制度の信頼感を高めるとともに、介護給付費や保険料の増大を抑制し、持続可能な介護保険制度とすることが大切です。</li> <li>介護保険サービス利用者が、安心してサービスを受けられるよう、介護サービス事業者に対する指導・助言を行うことが重要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「介護給付費適正化事業計画」に基づき、「事業者のサービス提供体制及び介護報酬請求の適正化」「ケアマネジメントのなどの適正化」を実施します。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・事業所監査を実施し、事業者のサービス提供体制、介護報酬請求、ケアマネジメントが適正であるかの点検及び国保連合会データ及び適正化システム導入により今後介護事業所等へ疑義照会するなど点検を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正化システムを導入したことにより、国保連合会データでの点検では確認できなかった項目が確認できるようになったことで、介護報酬請求の適正化を進めることが出来た。平成30年に居宅介護支援事業所の監査も市が行うことになるため、監査・指導を行う人材の育成に取り組むと共に、点検内容の充実を図る必要があります。</li> </ul>	A
	5-2	2 (P118) ○介護給付適正化事業(ケアプラン点検等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護給付適正化を実現するためには、保険者が介護給付を必要とする被保険者を適切に認定したうえで、受給者が真に必要なサービスを適切に提供するように促す必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の自立支援に資する適切な介護サービスの質の確保と向上を図るため、国、県の指針を踏まえ、「要介護認定の適正化」「ケアプランの点検」「住宅改修等の点検」「縦覧点検・医療情報との突合」「介護給付費通知」の主要5事業について、介護給付適正化事業と位置づけて、重点的かつ計画的な推進を図ります。また、国保連合会から送られてくる給付実績を活用し、医療情報との突合及び縦覧点検を実施し、介護報酬請求の適正化を進めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・要介護認定申請書の点検(1650件) ・居宅介護支援事業所のケアプランのヒアリング等の実施(36件) ・福祉用具の必要性等の点検及び利用状況(146件) ・住宅改修の必要性の点検(100件) ・国保連合会からの給付実績の活用(276件) ・介護給付費通知の送付(2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護認定申請書の点検、居宅介護支援事業所のケアプラン点検、福祉用具の必要性等の点検及び利用状況の確認、住宅改修の必要性の点検、国保連合会からの給付実績を活用した点検、介護給付費通知の送付を実施しています。平成29年1月から、トリトンシステムを導入し、認定情報および給付情報を突合せた情報をもとに、ケアプランのヒアリングを実施し、今後の波及効果を期待しています。</li> </ul>	A
	5-3	3 サービスの質の確保と向上(P120) ○サービス評価事業への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援専門員の資質・専門性の向上に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に関する情報提供や兵庫県や関係機関と連携した研修などを実施するなど介護人材の質的向上を図ります。</li> <li>介護保険サービス事業者間の連携を一層充実し、ケアマネジャー相互の意見や情報交換の機会を設けるとともに、主任ケアマネジャーを中心に支援体制の整備に努めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) ・市とケアマネジャー支部が連携を取りながら、サービス利用者がより高い水準のサービスを安心して利用できるよう、研修会や説明会、意見交換会を開催し専門職としての資質の向上を図っている。(スーパーバイザー研修2回、セミナー3回、総合事業説明会1回、多職種連携の会1回) ・主任介護支援専門員連絡会でその役割を再検討し、ケアマネジャー相互の意見や情報交換の場を設ける活動をしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市とケアマネジャー支部が連携を取りながら、サービス利用者がより高い水準のサービスを安心して利用できるよう、研修会や説明会、意見交換会を開催し専門職としての資質の向上を図っている。</li> <li>主任介護支援専門員連絡会の活動を支援し、事業所内また事業所を超えて介護支援専門員相互の情報交換や事例検討の場を設ける活動を実施し、相互研鑽を促進することにより、さらなる質の向上を図る必要があります。</li> </ul>	B
			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の安心・信頼を獲得するため、質の向上を図ることが重要であり、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場で行う第三者評価の受審促進に努め、評価結果を公表することが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスの質の向上といった観点から、サービス事業者自らが行う自己評価システムや外部評価としての第三者評価について、事業者に対し導入・受審の働きかけを行い、市民にとって利用しやすい苦情処理システムの確立に努めます。</li> </ul>	実施	(実施内容) 地域密着型サービス事業所 ・認知症対応型共同生活介護 3事業所 ・小規模多機能型居宅介護 3事業所 年に1回は自己評価し外部評価として第三者評価し公表します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価および外部評価はされているが、その内容のチェックや、市民への周知などは行っていないのが現状である。評価内容をいかに今後のサービスの向上につなげるかと、公表された内容の活用が必要です。</li> </ul>	B

## 事業年度における推計値

### (1) 被保険者数の推計

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年		平成28年		平成29年
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	推計値	実績値	推計値	実績値	推計値
総人口	40,178人	40,159人	40,179人	40,063人	39,816人	39,702人	39,953人	39,582人	40,238人	39,441人
40歳未満人口	18,420人	18,140人	17,938人	17,591人	17,120人	16,831人	17,006人	16,557人	17,013人	16,304人
	45.8%	45.2%	44.6%	43.9%	43.0%	42.4%	42.6%	41.8%	42.3%	41.3%
40歳以上人口	21,758人	22,019人	22,241人	22,472人	22,696人	22,871人	22,947人	23,025人	23,225人	23,137人
	54.2%	54.8%	55.4%	56.1%	57.0%	57.6%	57.4%	58.2%	57.7%	58.7%
40～64歳	12,998人	13,204人	13,161人	13,062人	12,935人	12,969人	12,997人	12,948人	13,067人	12,945人
	32.4%	32.9%	32.8%	32.6%	32.5%	32.7%	32.5%	32.7%	32.5%	32.8%
前期高齢者 (65～74歳)	4,172人	4,041人	4,172人	4,433人	4,802人	4,884人	4,885人	5,021人	5,023人	5,042人
	10.4%	10.1%	10.4%	11.1%	12.1%	12.3%	12.2%	12.7%	12.5%	12.8%
後期高齢者 (75歳以上)	4,588人	4,774人	4,908人	4,977人	4,959人	5,018人	5,065人	5,056人	5,135人	5,150人
	11.4%	11.9%	12.2%	12.4%	12.5%	12.6%	12.7%	12.8%	12.8%	13.1%

資料：高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画より転記。実績値は住民基本台帳(各年度9月末時点)

### (2) 要介護・要支援認定者数の推計

#### 【要介護・要支援認定者数の推計】

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年		平成28年		平成29年
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	推計値	実績値	推計値	実績値	推計値
要介護・要支援認定者数	1,587人	1,663人	1,713人	1,677人	1,675人	1,709人	1,680人	1,723人	1,652人	1,754人
要支援1	154人	165人	134人	101人	108人	112人	96人	112人	91人	114人
要支援2	206人	175人	208人	198人	179人	183人	181人	185人	136人	187人
要介護1	372人	354人	325人	313人	342人	348人	371人	351人	399人	357人
要介護2	236人	314人	366人	392人	355人	361人	357人	365人	367人	371人
要介護3	237人	254人	271人	253人	273人	278人	281人	280人	269人	286人
要介護4	195人	221人	235人	241人	251人	256人	240人	258人	225人	263人
要介護5	187人	180人	174人	179人	167人	171人	154人	172人	165人	176人

資料：高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画より転記。実績値は介護保険事業状況報告(各年度9月末時点)



加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(実績数値)

1 高齢者が活躍できることへの支援			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
高齢者の健康づくり・ 生きがいがづくりの推進	クラブ数	計画値(クラブ)	98	98	98	97	97	97	
		実績値(クラブ)	96	96	95	93	92	—	
	会員数	計画値(人)	5,911	5,893	5,673	5,500	5,500	5,500	
		実績値(人)	5,713	5,557	5,412	5,287	5,207	—	
	年間活動延月数	計画値(月)	1,176	1,176	1,176	1,164	1,164	1,164	
		実績値(月)	1,152	1,152	1,140	1,116	1,104	—	
	1クラブ 平均会員数	計画値(人)	60.3	60.1	57.9	57	57	57	
		実績値(人)	59.5	57.9	56.9	56.8	56.6	—	

2 高齢者を支える人材と活躍の場の確保			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考	
介護サービス支援者の 人材育成	介護予防・生活 支援サポーター養成	介護予防サポーター (人)	養成者数	—	—	29	30	25	9	
			活動者数	—	—	18	18	19	28	
		生活支援サポーター (人)	養成者数	45	25	17	17	52	22	
			介護ファミサポ登録者 (協力会員)数	—	25	14	7	18	11	
	地域回想法 リーダー養成	養成者数(人)	54	29	—	—	—	36		
		フォローアップ連絡会・研修会 参加者数(人)	—	171	63	38	51	10		
就業・事業の立ち上げ・ボランティア活動 の促進	ボランティア 活動(社会福祉協議会)	団体数(人)	69	61	66	71	67	65		
		団体登録人数(人)	983	1,000	748	639	682	926		
		個人登録人数(人)	69	35	31	39	87	145		
	シルバー人材センター活動 (シルバー人材センター)	会員数(人)	415	420	397	386	366	358		
		※就業率は年度途中退会者 の実績含む	男	272	277	265	252	235	232	
			女	143	143	132	134	131	126	
		就業率(%)	95.4	97.9	100	96.4	98.1	95.0		
		就業延人員(人)	54,556	55,449	55,197	54,223	52,913	50,344		
	就労支援室 活動(商工会)	相談件数(全体)	90	269	481	473	614	577		
			うち60歳代	—	37	92	145	244	158	
			男	—	18	50	102	178	102	
女			—	19	42	43	66	56		
企業訪問件数		598	967	1,081	1,206	1,089	1,166			

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(実績数値)

3 介護予防・日常生活支援総合事業の推進				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考	
通所型サービスの整備	かとうまちかど体操教室(グループ)		計画値	—	20	40	60	80	100		
			実績値	—	20	34	41	51	—		
	物忘れ予防カフェ(箇所)		計画値	—	—	6	8	10	12		
			実績値	—	1	2	3	3	—		
	元気応援通所事業(人)		計画値	11	8	9	20	20	20		
			実績値	9	7	9	20	72	—		
	ミニデイサービス事業(人)		計画値								
			実績値				6	26	—		
元気になるうデイ(人)		計画値									
		実績値				1	7	—			
訪問型サービスの整備	日常生活援助事業(人)		計画値	10	9	8	10	10	10		
			実績値	9	6	5	10	18	—		
	かとう介護ファミリーサポートセンター	依頼会員	登録者数(人)	計画値	50	100	100	125	150	175	
			利用者数(人)	実績値	18	55	87	119	140	—	
		協力会員	延人数	7	18	26	43	52	—		
			延人数	44	138	300	733	1036	—		
	訪問型介護予防事業	登録者数(人)	計画値	50	80	100	100	110	120		
			実績値	25	39	41	58	74	—		
		活動者数(人)	実人数	8	13	20	30	28	—		
			延人数	44	138	300	733	1036	—		
	訪問型介護予防事業	利用者数(人)	計画値	15	15	15	30	35	40		
			実績値	16	39	54	5	12	—		
		利用回数(回)	計画値	25	25	25	70	80	90		
			実績値	36	60	56	7	17	—		
効果的な介護予防ケアマネジメント体制の整備	基本チェックリスト実施者		実施者数(件)	実績値	1,887	763	682	594	779	—	
			事業対象者数(件)	実績値	442	275	273	152	167	—	
	介護予防ケアマネジメント	計画作成数(件)	実績値	60	133	54	223	276	—		
	指定介護予防支援	介護予防計画作成件数(件)	実績値	2,770	2,795	2,673	2,478	1,848	—		
一般介護予防事業の充実	介護予防普及啓発事業		利用者数(人)	計画値	1,700	1,400	900	1,010	1,020	1,030	
				実績値	2,284	1,318	822	1,219	1,085		
			利用回数(回)	計画値	170	45	45	50	55	60	
				実績値	138	40	28	29	27		
	地域介護予防活動支援事業		利用者数(人)	計画値		1,000	1,200	1,250	1,300	1,350	
				実績値		716	1,078	918	669		
			利用回数(回)	計画値		400	500	550	600	650	
				実績値		176	338	42	35		
再掲 地域回想法スクール	利用者数(人)	実績値		266	197	151	76	—			
	利用回数(回)	実績値		30	16	14	8	—			

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(実績数値)

4 高齢者を地域で支える仕組みづくり					平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
地域包括ケアシステムの構築	相談体制の充実	総合相談支援事業	相談件数(件)	実績値	3,482	3,089	3,435	3,185	3,216		
多様な生活支援の充実	①老人等給食サービス	老人等給食サービス	利用者数(人)	計画値	175	180	180	180	190	200	
				実績値	178	141	138	232	242	—	
			食数(食)	計画値	9,100	9,150	9,150	10,000	10,600	11,200	
				実績値	9,478	9,432	8,147	7,621	7,787	—	
	②外出支援サービス	移送サービス	利用者数(人)	計画値	40	40	40	40	40	40	
				実績値	23	22	23	11	10	—	
			利用回数(回)	計画値	350	350	350	350	350	350	
				実績値	342	330	197	152	152	—	
		福祉車両貸出	利用者数(人)	計画値	50	60	70	70	75	80	
			実績値	42	44	36	45	58	—		
	利用回数(回)	計画値	260	270	280	550	600	650			
		実績値	338	467	299	357	273	—			
	③福祉機器・用具の貸与	福祉機器・用具の貸与(延人数)	計画値	250	240	230	230	230	230		
			実績値	305	269	263	300	327	—		
	④生活管理指導短期宿泊事業	生活管理指導短期宿泊事業	利用者数(人)	計画値	2	2	2	2	2	2	
				実績値	0	1	0	1	0	—	
			利用日数(日)	計画値	60	60	60	60	60	60	
				実績値	0	32	0	30	0	—	
	⑤日常生活用具給付・貸与事業(世帯)	日常生活用具給付・貸与事業(世帯)	計画値	50	50	50	15	15	15		
			実績値	12	10	8	2	5	—		
⑥緊急通報システム貸与事業	緊急通報システム貸与事業(延設置台数)	計画値	330	335	340	345	350	355			
		実績値	322	319	325	283	303	—			
⑦はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術費助成事業	はり・灸・あんま・マッサージ・指圧施術費助成事業	利用者数(人)	計画値	200	200	200	150	150	150		
			実績値	96	83	121	97	84	—		
		利用回数(回)	計画値	700	700	700	550	550	550		
			実績値	412	342	373	340	308	—		
⑧福祉タクシー利用券助成事業	福祉タクシー利用券助成事業	申請者数(人)	計画値	2,400	2,600	2,800	3,000	3,100	3,200		
			実績値	1,914	2,080	2,156	2,201	2,264	—		
		利用枚数(枚)	計画値	42,700	46,800	49,800	52,000	54,000	56,000		
			実績値	36,577	41,964	44,433	45,249	45,710	—		
家族介護者に対する支援	家族介護者を地域で支える施策の推進	家族介護者のつどい(人)	計画値	170	170	170	170	175	180		
			実績値	188	176	137	57	44	—		
		家族介護用品支給事業(人)	計画値	155	160	165	170	175	180		
			実績値	154	168	140	133	125	—		
居住・生活環境の整備・充実	高齢者にやさしい居住環境づくりの推進	人生80年いきいき住宅助成事業(世帯)	計画値	30	30	30	30	30	30		
		実績値	38	32	16	13	16	—			
災害時・緊急時の支援体制の充実	市民の防災意識の向上のための取	安心救急情報キット配布	計画値	—	—	—	1,480	1,780	2,080		
			実績値	183	966	1,029	1,101	1,197	—		
	災害時要援護者台帳登録者数	計画値	—	—	—	1,350	1,650	1,950			
		実績値	—	864	862	836	864	—			

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況評価(参考資料1).xlsx(実績数値)

5 認知症支援体制の整備				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
認知症高齢者への支援の充実	認知症の早期発見・早期支援への取り組み	物忘れ相談プログラムの活用(回)	計画値	—	—	—	1,100	1,100	1,100	
			実績値	1,244	1,086	1,001	1,782	819	—	
	地域における支援体制の構築	認知症サポーター養成事業 養成者数(人)	計画値	500	500	500	500	500	500	
			実績値	694	454	328	257	150	—	
		認知症キャラバン・メイト活動支援事業	登録数	実績値(人)	2	7	2	3	1	
			登録数【累計】	実績値(人)	【122】	【129】	【131】	【134】	【135】	
		茶話会(家族介護者のつどい)(箇所)	計画値	—	—	6	8	10	12	
			実績値	—	5	6	6	—	—	
	物忘れ予防カフェ(箇所)	計画値	—	—	6	8	10	12		
		実績値	—	4	6	8	12	—		
	ひとり外出見守り・徘徊SOSネットワーク(協力機関)(人)	計画値	220	240	260	240	250	260		
		実績値	218	224	225	229	230	—		

7 介護サービスの充実強化と医療との連携強化				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
地域密着型サービスの提供基盤の整備・充実	地域密着型サービスの整備	認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護(箇所)	計画値	2	2	2	2	
			実績値	2	1	1	—	
		小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護(箇所)	計画値	3	3	3	3	
			実績値	3	3	3	—	
		認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護(箇所)	計画値	3 (45)	3 (45)	3 (45)	3 (45)	( )内は床数
			実績値	3 (45)	3 (45)	3 (45)	—	( )内は床数
		地域密着型介護老人福祉施設 居宅入所者生活介護(箇所)	計画値	1 (20)	1 (20)	1 (20)	1 (20)	( )内は床数
			実績値	1 (20)	1 (20)	1 (20)	—	( )内は床数
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護(箇所)	計画値	0	0	1	1	
			実績値	0	0	1	—	
居宅サービス・施設サービスの提供基盤の整備の充実	特別養護老人ホーム	広域型 (30人以上) (箇所)	計画値	3 (194)	3 (194)	3 (194)	3 (194)	( )内は床数
			実績値	3 (194)	3 (194)	3 (194)	—	( )内は床数
	介護老人保健施設(箇所)	計画値	2 (100)	2 (100)	2 (100)	2 (100)	( )内は床数	
		実績値	2 (100)	2 (100)	2 (100)	—	( )内は床数	
	特定施設入居者生活介護(箇所)	計画値	1 (72)	1 (72)	1 (72)	1 (72)	( )内は床数	
		実績値	1 (72)	1 (72)	1 (72)	—	( )内は床数	

8 介護保険制度運営の適正化				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
監査体制の構築	事業所 監査指導	介護保険事業所 指導監査(件)	計画値	6	6	6	10	12	12	
			実績値	9	14	10	12	12	—	
介護給付の適正化	介護給付適正化事業	ケアプラン点検(件)	計画値	6	6	6	15	15	15	
			実績値	3	15	15	32	36	—	
		適正化による介護給付費の点検(件)	計画値	—	—	—	200	200	200	
			実績値	—	—	—	327	657	—	
		介護給付費通知発送(件)	計画値	—	—	—	3,000	3,000	3,000	
			実績値	2,926	2,937	2,977	2,994	2,957	—	

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況(実績数値)

介護給付費について

単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①居宅サービス	計画値	977,380,610	1,013,228,229	1,044,733,755	1,332,782,630	1,386,854,586	1,448,994,288	1,343,403,000	1,371,304,000	1,421,949,000
	実績値	1,050,936,338	1,134,242,447	1,230,739,282	1,331,632,333	1,355,929,230	1,300,056,530	1,285,318,247	1,139,866,584	
訪問介護	計画値	92,985,643	96,605,815	99,792,757	119,359,714	126,227,692	131,507,413	143,292,000	159,853,000	182,596,000
	実績値	90,427,012	89,312,285	109,459,555	125,319,661	135,193,010	121,138,801	114,429,035	115,732,385	
訪問入浴介護	計画値	5,617,942	5,856,883	6,044,762	4,526,874	5,205,905	5,675,531	4,676,000	4,631,000	4,597,000
	実績値	6,178,896	4,571,549	4,630,795	3,708,116	4,832,856	4,864,296	4,980,303	5,392,188	
訪問看護	計画値	31,409,716	32,416,886	33,411,046	51,285,610	55,795,908	58,630,394	66,153,000	74,403,000	89,092,000
	実績値	31,764,762	46,411,177	52,341,397	56,703,374	61,631,247	62,995,833	62,357,608	68,618,882	
訪問リハビリテーション	計画値	9,906,414	10,288,555	10,629,630	4,787,713	5,030,723	5,452,923	1,564,000	1,729,000	2,353,000
	実績値	11,147,886	6,412,032	5,045,913	5,611,695	4,983,026	1,738,371	1,891,990	4,098,024	
居宅療養管理指導	計画値	1,150,946	1,182,695	1,222,383	4,861,225	5,795,052	6,706,395	6,628,000	7,778,000	9,092,000
	実績値	2,898,990	3,199,230	4,748,400	5,239,521	5,002,299	5,072,607	5,249,506	6,281,149	
通所介護(デイサービス)	計画値	377,085,931	391,634,742	404,178,998	503,344,804	540,108,773	576,444,997	507,272,000	522,607,000	546,899,000
	実績値	398,284,428	416,789,433	446,558,836	493,145,759	486,405,547	480,521,425	461,617,754	294,233,779	
通所リハビリテーション	計画値	137,025,341	142,633,063	147,453,234	183,724,348	194,611,565	207,614,465	160,755,000	153,969,000	147,256,000
	実績値	141,730,226	155,493,416	173,304,345	188,489,988	180,192,366	177,580,050	184,024,586	185,436,776	
短期入所生活介護	計画値	139,668,026	144,272,472	148,500,639	188,154,098	165,759,248	158,527,743	158,880,000	153,831,000	145,909,000
	実績値	162,687,871	181,925,720	171,385,206	174,473,274	177,350,544	156,289,746	133,640,123	130,509,863	
短期入所療養介護	計画値	25,241,524	26,167,094	27,009,726	38,719,604	40,764,822	41,452,812	29,246,000	25,670,000	22,412,000
	実績値	27,538,686	32,671,227	34,361,867	37,624,249	37,901,292	31,599,771	29,863,600	36,028,072	
特定施設入居者生活介護	計画値	18,311,511	18,126,547	17,941,582	18,458,763	19,084,424	19,598,110	49,693,000	49,597,000	49,597,000
	実績値	15,260,905	16,333,955	18,330,687	25,172,179	45,949,689	49,158,656	73,204,753	71,816,042	
福祉用具貸与	計画値	46,530,627	48,165,366	49,669,222	62,848,306	67,382,702	72,669,315	71,864,000	72,738,000	74,870,000
	実績値	49,973,814	52,336,413	63,111,933	66,687,255	67,290,282	64,465,497	65,788,233	68,612,487	
特定福祉用具販売	計画値	2,064,146	2,115,749	2,167,353	3,369,600	3,855,600	4,071,600	3,657,000	4,041,000	4,534,000
	実績値	2,850,472	3,088,307	3,294,275	2,854,308	2,942,617	1,856,641	2,787,176	3,417,401	
住宅改修	計画値	9,499,777	9,749,771	9,999,765	16,200,000	17,820,000	19,440,000	13,205,000	14,600,000	16,279,000
	実績値	8,554,913	10,948,637	14,896,574	11,863,726	10,718,051	9,115,443	9,047,020	7,938,544	
居宅介護支援	計画値	80,883,066	84,012,591	86,712,658	133,141,971	139,412,172	141,202,590	126,518,000	125,857,000	126,463,000
	実績値	101,637,477	114,749,066	129,269,499	134,739,228	135,536,404	133,659,393	136,436,560	141,750,992	



加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況(実績数値)

介護給付費について

単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
②地域密着型サービス	計画値	43,639,182	86,239,117	136,678,415	218,832,323	229,975,855	239,465,359	339,552,000	350,944,000	373,886,000	
	実績値	161,971,756	198,959,575	203,779,750	201,811,647	240,850,933	328,885,842	330,805,755	510,099,891		
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	計画値									15,211,000
		実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	
	認知症対応型通所介護	計画値	18,379,548	19,120,663	19,762,398	20,257,104	26,745,789	30,651,700	29,250,000	29,626,000	29,974,000
		実績値	14,652,513	18,633,519	19,364,589	13,653,967	13,328,784	30,312,280	29,422,730	35,455,548	
	小規模多機能型居宅介護	計画値	25,259,634	67,118,454	116,916,017	59,960,114	64,591,962	70,096,398	118,000,000	129,388,000	136,771,000
		実績値	25,610,733	48,417,174	52,939,530	52,891,030	42,338,992	99,786,034	115,152,963	117,329,650	
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	計画値							58,651,000	58,537,000	58,537,000
		実績値	0	0	0	0	49,213,032	64,144,470	63,217,373	63,566,195	
認知症対応型共同生活介護	計画値	99,816,673	98,808,424	97,081,056	138,615,105	138,638,104	138,717,261	133,651,000	133,393,000	133,393,000	
	実績値	121,708,510	131,908,882	131,475,631	135,266,650	135,970,125	134,643,058	123,012,689	117,280,024		
地域密着型通所介護	計画値								0	0	
	実績値								176,468,474		
③施設サービス	計画値	821,442,818	801,815,971	782,356,801	931,706,078	1,025,365,314	1,056,836,828	996,713,000	994,787,000	994,787,000	
	実績値	870,272,198	859,962,129	906,219,548	965,684,164	965,821,235	999,765,691	991,040,127	982,148,001		
	介護老人福祉施設	計画値	532,650,672	527,051,396	521,673,320	641,696,560	735,355,796	766,827,310	695,393,000	694,049,000	694,049,000
		実績値	550,848,757	578,449,963	623,317,019	669,986,028	667,664,439	691,655,028	686,171,371	665,143,765	
	介護老人保健施設	計画値	228,947,114	229,257,096	229,513,555	241,508,445	241,508,445	241,508,445	279,375,000	278,835,000	278,835,000
		実績値	230,628,517	228,989,661	230,421,191	255,634,578	276,678,197	285,387,645	270,594,768	281,766,079	
	介護療養型医療施設	計画値	59,845,032	45,507,479	31,169,926	48,501,073	48,501,073	48,501,073	21,945,000	21,903,000	21,903,000
		実績値	88,794,924	52,522,505	52,481,338	40,063,558	21,478,599	22,723,018	34,273,988	35,238,157	
	介護給付費合計 ①+②+③	計画値	1,842,462,610	1,901,283,317	1,963,768,971	2,483,321,031	2,642,195,755	2,745,296,475	2,679,668,000	2,717,035,000	2,790,622,000
		実績値	2,083,180,292	2,193,164,151	2,340,738,580	2,499,128,144	2,562,601,398	2,628,708,063	2,607,164,129	2,632,114,476	

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況(実績数値)

介護予防給付費について

単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①居宅サービス	計画値	148,756,328	152,541,242	155,000,873	107,846,052	109,334,502	110,887,800	105,103,000	103,476,000	79,595,000
	実績値	122,206,288	108,775,507	101,422,280	98,233,509	99,767,233	101,253,113	82,771,213	53,900,538	
介護予防訪問介護	計画値	15,621,890	16,025,832	16,280,497	13,765,409	14,263,534	14,525,991	7,006,000	0	0
	実績値	12,970,869	12,123,369	11,822,652	10,114,901	9,345,821	8,417,258	4,877,783	660,418	
介護予防訪問入浴介護	計画値	0	0	0	379,312	379,312	419,555	0	0	0
	実績値	0	387,198	0	0	0	28,756	21,519	0	
介護予防訪問看護	計画値	2,897,603	3,035,422	3,087,139	4,572,678	4,576,510	4,580,341	5,995,000	6,295,000	6,615,000
	実績値	1,969,884	3,997,881	4,445,892	5,633,242	5,159,664	6,606,101	8,702,751	7,319,257	
介護予防訪問リハビリテーション	計画値	1,718,888	1,761,148	1,788,572	901,204	839,260	777,317	0	0	0
	実績値	2,374,488	565,398	649,368	119,552	427,454	208,987	154,375	230,876	
介護予防居宅療養管理指導	計画値	154,826	154,826	163,934	159,357	318,714	478,071	695,000	1,021,000	1,506,000
	実績値	156,420	247,680	258,300	260,442	329,931	496,314	460,950	349,497	
介護予防通所介護(デイサービス)	計画値	69,714,801	71,518,280	72,655,136	46,216,548	46,056,982	45,897,416	41,753,000	37,552,000	0
	実績値	51,434,433	46,915,023	45,812,398	44,626,213	46,212,578	43,192,682	30,035,020	13,206,727	
介護予防通所リハビリテーション	計画値	25,215,627	25,851,097	26,254,668	14,772,704	15,564,264	16,611,126	21,435,000	29,088,000	39,734,000
	実績値	23,200,375	17,456,382	13,877,581	11,863,843	12,145,929	16,059,669	11,978,349	10,111,098	
介護予防短期入所生活介護	計画値	2,346,330	2,440,729	2,477,054	1,104,647	1,200,907	1,297,168	104,000	38,000	0
	実績値	450,144	485,352	768,366	570,029	492,003	711,859	137,851	97,911	
介護予防短期入所療養介護	計画値	1,347,514	1,375,036	1,401,719	314,479	366,274	418,069	2,063,000	2,942,000	3,955,000
	実績値	1,212,147	497,115	136,998	572,907	778,205	351,666	0	0	
介護予防特定施設入居者生活介護	計画値	2,918,230	2,888,753	2,859,276	1,545,995	1,545,995	1,545,995	3,035,000	3,029,000	3,029,000
	実績値	2,247,692	1,559,732	1,288,620	1,453,091	1,561,736	2,460,877	3,202,704	5,069,588	
介護予防福祉用具貸与	計画値	7,705,323	7,901,755	8,026,094	6,433,532	6,507,790	6,587,019	7,087,000	7,442,000	7,814,000
	実績値	6,498,900	6,874,920	6,297,426	6,129,477	6,911,910	6,761,808	7,445,430	6,691,654	
特定介護予防福祉用具販売	計画値	803,565	838,503	855,971	534,114	534,114	534,114	318,000	350,000	385,000
	実績値	956,169	358,011	427,013	666,049	422,344	389,520	425,148	354,865	
介護予防住宅改修	計画値	4,815,309	4,906,164	5,087,873	4,320,000	4,320,000	4,320,000	4,479,000	4,776,000	5,780,000
	実績値	5,840,791	4,509,206	3,392,306	4,402,591	4,024,703	3,910,604	4,258,021	1,797,824	
介護予防支援	計画値	13,496,422	13,843,697	14,062,940	12,826,073	12,860,846	12,895,618	11,133,000	10,943,000	10,777,000
	実績値	12,893,976	12,798,240	12,245,360	11,821,172	11,954,955	11,657,012	11,071,312	8,010,823	

加東市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画進捗状況(実績数値)

介護予防給付費について

単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
②地域密着型サービス	計画値	1,990,190	4,337,325	6,580,849	5,513,470	5,787,677	6,735,068	2,886,000	2,880,000	2,880,000	
	実績値	1,679,688	2,579,526	2,965,445	3,532,356	413,691	3,433,362	3,337,922	2,948,954		
	介護予防認知症対応型通所介護	計画値	858,565	883,888	895,058	413,220	413,220	414,660	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	1,085,662	464,974	142,490	
	介護予防小規模多機能型居宅介護	計画値	688,570	3,014,858	5,251,687	2,378,650	2,652,857	3,598,808	2,886,000	2,880,000	2,880,000
		実績値	1,679,688	1,380,645	1,572,966	2,146,256	413,691	2,347,700	2,872,948	2,806,464	
介護予防認知症対応型共同生活介護	計画値	443,055	438,579	434,104	2,721,600	2,721,600	2,721,600	0	0	0	
	実績値	0	1,198,881	1,392,479	1,386,100	0	0	0	0		
介護予防給付費合計①+②	計画値	150,746,518	156,878,567	161,581,722	113,359,522	115,122,179	117,622,868	107,989,000	106,356,000	82,475,000	
	実績値	123,885,976	111,355,033	104,387,725	101,765,865	100,180,924	104,686,475	86,109,135	56,849,492		

その他給付費について

単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①その他	計画値	142,645,920	146,233,360	149,896,300	167,392,500	178,987,500	191,189,000	222,454,000	232,652,000	253,632,000
	実績値	133,163,423	149,252,022	162,844,181	178,001,839	196,627,600	209,083,294	208,489,434	197,564,425	0
特定入所者介護サービス費	計画値	100,000,000	102,500,000	105,062,500	120,000,000	128,400,000	137,300,000	149,844,000	155,808,000	171,827,000
	実績値	96,734,310	103,882,140	114,079,300	122,748,080	140,038,380	147,854,789	148,113,790	138,107,243	
高額介護サービス費	計画値	40,000,000	41,000,000	42,025,000	39,000,000	41,730,000	44,650,000	60,196,000	63,724,000	67,863,000
	実績値	33,460,427	36,480,259	41,046,836	44,464,126	46,856,372	50,562,155	49,592,227	54,364,177	
高額医療合算サービス費	計画値				6,000,000	6,300,000	6,500,000	10,333,000	10,898,000	11,556,000
	実績値	70,766	6,228,573	5,452,210	8,652,483	7,787,903	8,724,195	8,840,047	3,173,125	
審査支払手数料	計画値	2,645,920	2,733,360	2,808,800	2,392,500	2,557,500	2,739,000	2,081,000	2,222,000	2,386,000
	実績値	2,897,920	2,661,050	2,265,835	2,137,150	1,944,945	1,942,155	1,943,370	1,919,880	

総給付費

単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総給付費	計画値	2,135,855,048	2,204,395,244	2,275,246,993	2,764,073,053	2,936,305,434	3,054,108,343	3,010,111,000	3,056,043,000	3,126,729,000
	実績値	2,340,229,691	2,453,771,206	2,607,970,486	2,778,895,848	2,859,409,922	2,942,477,832	2,901,762,698	2,886,528,393	
	計画との差	204,374,643	249,375,962	332,723,493	14,822,795	▲ 76,895,512	▲ 111,630,511	▲ 108,348,302	▲ 169,514,607	

地域支援事業

※平成28年度実績値は県報告により確定するため見込値です。 単位:円

介護保険サービスなどの見込み		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護予防・日常生活支援総合事業費	計画値	22,330,258	23,004,703	23,713,064	27,616,805	29,337,479	25,431,000	25,431,000	36,481,000	94,804,000
	実績値	21,532,602	21,840,252	21,859,251	24,892,982	25,431,210	25,459,026	20,219,177	29,953,395	
包括的支援事業・任意事業費	計画値	44,660,516	46,009,406	47,426,128	55,233,611	58,674,958	61,027,386	48,521,000	48,521,000	48,521,000
	実績値	44,250,385	45,671,661	44,780,173	47,889,324	38,167,418	43,810,859	46,055,445	50,137,686	
地域支援事業総事業費	計画値	66,990,774	69,014,109	71,139,192	82,850,416	88,012,437	86,458,386	73,952,000	85,002,000	143,325,000
	実績値	65,782,987	67,511,913	66,639,424	72,782,306	63,598,628	69,269,885	66,274,622	80,091,081	
	計画との差	▲ 410,131	▲ 337,745	▲ 2,645,955	▲ 10,068,110	▲ 24,413,809	▲ 17,188,501	▲ 7,677,378	▲ 4,911,009	